

心からのご厚意に感謝いたします タオルの寄贈をいただきました！

7月9日(木)、役場応接室において、大阪府泉佐野市から災害備蓄用品としてタオル3,600枚が贈られ、その寄贈式が行われました。

本町と泉佐野市は野方の荒佐野地域に関連した歴史的な繋がりから『ふるさと逸品協定』を締結しており、今回の寄贈となりました。

来町された泉佐野市役所職員の山本さん(右上写真右)と上原さん(右上写真左)は寄贈式で「市長一同、大崎町の災害の報せを聞き、何か出来ることがあればと思いタオルを持参してきました。ぜひ災害復興にお役立てください」と述べられ、東町長は「心温まる支援をしていただいたこと、本当にありがたい」と感謝の気持ちを述べました。

いただいたタオルは今回の災害はもちろんのこと、今後の有事の際にも使用させていただきます。

泉佐野市の千代松市長はじめ、泉佐野市の皆さまのご厚意に心から感謝いたします。



浜屋将太投手が恩返し 出身少年団へ用具一式を寄贈



7月23日(木)、研修センターグラウンドにおいて、本町出身で埼玉西武ライオンズの浜屋将太投手から、出身少年団である大崎ソフトボール少年団へ用具一式が贈られました。

贈られた用具は、バット4本、ヘルメット6個、ボール60個などが贈られ、同少年団キャプテンの小学6年、有馬さんに感想を伺うと「ほんとに嬉しいです。浜屋投手にありがとうございますと言いたいです」と話してくれました。

灯籠とポスターを作製 大崎中の生徒が都萬神社に奉納



6月29日(月)、大崎中学校の特別支援学級の生徒20名が都萬神社の夏越祭に合わせポスターと灯籠を作成しました。

作成したポスターには、生徒が手作りしたメッセージが描かれ、灯籠には自身の夢が描かれています。

灯籠について3年生の上村ひなたさんに話を伺うと「私は3年生なので残りの学校生活を楽しみたいという思いで『楽、と書きました』と話されました。